

「地域の人的・物的資源の活用」

小出特別支援学校 高等部

地域資源活用の意義

校外へ出て学ぶことは、子どもの自立と社会参加を促進するよい学習の機会となっています。また、地域の方々にとっては、障害のある子どもたちに対する理解を深める機会となります。互いが、地域社会を構成するものとして共に助け合い、支え合って生きていくことを学ぶ大切な機会となっています。そこで、当校での取り組みを紹介します。

接客サービス講話

「なごみカフェ」は今年で4年目になります。毎年喫茶サービスの講習会に浦佐ホテルオカベ様から講習をしていただき、おもてなしの基本を教えてくださいたいです。



福祉介護サービス講話



健康倶楽部つどい施設長春日由里江様から来ていただき4年目になりました。老人介護の基礎を、演習を交えて学びました。高齢者の身体の不自由さの疑似体験、車いす体験、ベッドメイキングをすることに

より高齢者の立場に立った学習を進めることができました。



身だしなみ講座

男子は、洋服の青山様から社会人としてふさわしい身だしなみ、シーンに合わせたシャツ・ネクタイの選び方を学びました。女子は、メナード様から洗顔の仕方・お化粧の仕方について学びました。



小出駅清掃ボランティア



ビルクリーニング学習で学んだ技術を公共施設の清掃で発揮しました。いつも利用している小出駅をきれいにしようと一生懸命清掃しました。駅を利用している地域の方に「ありがとうね。きれいになったよ」と声をかけていただき温かい気持ちになりました。

石川雲蝶

美術の授業では開山堂天井の大彫刻をモチーフに、切り絵アート風の作品の共同制作を行っています。

毎年1学年で校外学習に行っている場所です。浦佐駅の模型にはおよびませんが、「これと同じものを作ったよ」「本物が学校の近くにあるよ」と彫刻を誇りに思っています。

福山森林体験の家

福山新田よらん会の皆様にご協力をいただき「苔玉づくり体験」を行いました。昨年度から生産班の生徒が作った葉皿や栗皿などに福山新田よらん会の苔玉をのせて販売したいという、よらん会の皆様からのありがたい要望をいただいたことが縁でこの体験が実現しました。



堀之内体育館でのトレーニング

高等部の総合的な学習では、卒業後の運動習慣の確立を目指して、昨年度から地域の堀之内体育館に行き、体育施設の利用方法を学んだり、ジムトレーニング器具等の安全な利用方法を学んだりしています。この取り組みから休日に友人と施設を利用したり、自宅にルームランナーやエアロバイクを購入したりした生徒もいて徐々に生徒の体力向上への意欲も高まっています。



喫茶サービス実践

「なごみカフェ」は今年で4年目になります。毎年喫茶サービスの講習会に浦佐ホテルオカベ様から講習をしていただき、おもてなしの基本を教えてくださいました。ここで得た知識や技能を生かして老人介護施設「まちなかや」、湯之谷庁舎、広神庁舎へコーヒーサービスをしました。



子どもたちの暮らす地域の中で

安心して、自信をもって生きる姿へ

成果と課題

- ◎地域の方々に、小出特別支援学校の子どもたちについて知ってもらう機会が増え、理解者・協力者が増えた。
- ◎子どもたちが地域に出て、様々な体験活動を行い、自信につながった。
- △今後の課題は、カリキュラムの中にどう校外学習を取り入れるか、交通手段はどうするかである。